

千葉県歴史教育者協議会「秋の見学会」

戊辰戦争と船橋の民衆

—「脱走様」と官軍兵士の墓地を訪ねる—

1868年、江戸を逃れた幕府軍と加勢する各藩の兵士が、房総を戦場として政府軍と戦った。特に戦闘が激しかった市川・船橋には両軍の戦没者の墓地が多くある。しかし、賊軍となった幕府方の戦死者のほとんどは、政府軍の命令によって埋葬や供養を禁止された。にもかかわらず船橋には埋葬された幕府方の墓地があり、今でも供養されている。供養を続けているのは船橋の民衆である。他の地域には見られない特徴である民衆供養が、なぜ行われたのか墓地を訪ねて考えてみたい。

日時 2019年10月27日(日) 10:00~16:00 (9:30 受付開始)

集合 JR 総武線東船橋駅 改札口

資料代 500円 (県会員は無料)

雨天 中止 (お知らせはホームページ上で、またはTELで確かめて下さい)

コース (午前) 東船橋駅→了源寺→慈雲寺→東光寺→船橋大神宮→市街地散策 (右島薬局跡・広瀬直船堂・森田呉服店) →浄勝寺
(午後) スクエア21ビル前集合→西向き地藏→海神念仏堂→(バス移動)→西船橋「風之神地藏菩薩立像」→JR西船橋駅・京成線西船橋駅解散



脱走様と官軍方の新しい墓碑



風之神菩薩立像と新しい案内碑

連絡先 千葉県歴史教育者協議会

ホームページ <http://c-rekkyo.sakura.ne.jp/>

